

消防部

重点目標

- 1 消防団体制の充実・強化
- 2 市民への防火対策の推進及び応急手当の普及の促進
- 3 消防水利の充実・強化
- 4 上田広域消防本部体制の充実・強化の推進

平成25年度 重点目標管理シート

重点目標	消防団体制の充実・強化			部局名	消防部	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する。				市長マニフェスト における位置付け		
現況・課題	消防団は、地域防災の要として、防災力向上のために活動していますが、団員の確保は全国的な課題となっています。24年度に消防団員の定数改正を行いました。引き続き、団員確保に努めるとともに、円滑な消防団活動ができるよう施設や装備の充実等環境整備に努めてまいります。						
目的・効果	現在の社会経済情勢も踏まえた消防団体制を構築することにより、さらに結束力が強固なものとなり、地域の安全、安心の確保が推進されます。また、施設や装備の充実強化により、より機動力を増した防災活動が期待できます。						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
消防団拠点施設及び消防団装備の充実	年度内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詰所新設2箇所 長、武石東部 ・ 詰所新設実施設計2箇所 第15、武石西部 ・ 車両更新3台 ポンプ車1台 丸子第3 小型動力ポンプ付軽積載車2台 丸子第2、丸子第6 ・ 小型動力ポンプ更新4台 第15、丸子第4、 長（角間、横沢） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団拠点施設の整備 詰所2箇所新設工事 長 8/5契約 26/1/31完成予定 武石東部 8/5契約 26/1/31完成予定 詰所実施設計 第15、武石西部 建築課と調整中 ・ 消防団車両等の更新 ポンプ車 6/28契約 26/2/28納車期限 軽積載車 6/28契約 12/20納車期限 小型動力ポンプ 6/28契約 12/20納入期限 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団拠点施設整備 長分団詰所 竣工 H26.1.14 武石東部詰所 竣工 H26.1.24 第15分団詰所実施設計 H26.3.20 完了 武石西部分団実施設計 H26.3.31 完了 ・ 消防団車両更新 ポンプ車（1台） 丸子第3 H26.2.28納車 小型動力ポンプ付軽積載車（2台） 丸子第2・丸子第6 H25.12.20納車 小型動力ポンプ（4台） 第15・丸子4・長（角間、横沢） H25.9.14納入 			
消防団活動の住民等への周知による消防団員の確保	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団活動に対する広報及び周知を行い、住民の理解を深め団員数の確保を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員新規採用者に入団の勧誘を行いました。 ・ 自治会や事業所等での防火講話や救急講習を行った際に、入団に対する協力をお願いしました。 ・ 「広報うえだ」で消防団活動を紹介し、住民の理解を求めるとともに入団をPRしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「広報うえだ」（4回掲載）、行政チャンネル（2月～3月）により入団PRを実施しました。 ・ 事業主へ市長名による協力依頼文書を配布しました。 ・ 商工会議所の広報誌へ消防団協力事業所加入案内の掲載を依頼しました。 ・ 年間を通して自治会、事業所等での防火、救急講習等の際、入団協力をお願いをしました。 ・ 消防団員数は、人口に比例して年々減少傾向が続く中、おおむね前年度同実員数を確保しました。 			
女性消防団員に配慮した分団詰所整備	年度内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性専用トイレの整備1箇所（第20分団） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備工事 11/15入札予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施設計 H25.9.27完了 ・ 改修工事 竣工 H26.1.24 			
市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点	消防団は、「地域を災害から守る」という使命達成のため、自発的参加により組織されている団体であり、また地域からも信頼、支持されている団体であることから、関係団体等と協議しながら進めてまいります。		取組による効果・残された課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 詰所建設は、実施計画に基づき計画的に整備を行い、平成27年度で全て完了する予定であり、施設整備に基づく地域防災力の向上が図られています。また、女性団員に配慮した環境整備として女性トイレの整備については、旧上田地区で女性団員在籍分団の詰所で、未整備は残すところ1箇所となりました。 ・ 消防団員の確保につきましては、定数確保に向けた更なる普及啓発が課題となっています。 ・ 車両整備につきましては、平成24年度の消防委員会における答申に基づいて、分団拠点施設の整備等に併せ、より効果的な消防活動を行うために見直した車両配備計画及び実施計画に基づき、今後も継続して対応してまいります。 ・ 新上田市消防団発足後8年が経過し、消防団の組織体制が確立され、各活動が円滑に行われる中、さらなる消防団活動の充実強化が望まれ、活動の維持及びいっそうの活発な活動を支援するため、消防団運営交付金の増額を図りました。 				

平成25年度 重点目標管理シート

重点目標	市民への防火対策の推進及び応急手当の普及の促進			部局名	消防部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			市長マニフェスト における位置付け			
現況・課題	平成24年中の上田市の火災件数は50件で、前年と比較して20件、3割の減少となりました。中でも「建物火災」は27件で前年より10件の減少、このうち「住宅火災」は15件で前年より7件の減少と、過去10年間の平均件数を下回る結果となりましたが、野火等を含む「その他火災」は25件で前年を上回る結果となったことから、その主な出火原因であるたき火の実施に対する火災危険の周知、また、浦里小学校の大規模火災の発生から、事業所等に対するさらなる防火対策の指導を徹底し、防災の基本である火災予防の啓発を強化するとともに、幼少年期からの防火意識の高揚を図り、将来への防火防災意識の定着を図ってまいります。 また、平成24年中の火災による死者数4人のうち3人は屋外における放火自殺によるもので、住宅火災による死者数は1人でありました。住宅火災による死者数0を目指して、住宅用火災警報器の設置指導を含めた住宅防火対策を継続して住宅火災の減少を図ってまいります。 次に公共施設、事業所及び教育施設等では、AEDの配置が進んでおり応急手当のニーズは高まっております。また、傷病者の救命率及び予後の向上には市民による応急手当が必要であることから、応急手当の普及啓発については継続的に実施してまいります。						
目的・効果	市民・事業所に対する防火対策の周知徹底を図るため、防火講習や訓練を実施することにより火災予防の啓発を図り、住宅防火対策では、高齢者を中心とした防火指導に重点的に取り組み、火災による犠牲者、火災発生件数の減少を図り、市民の生命・財産の安全を確保します。 応急手当につきましては、正しい知識、技術を身につけることにより、救命率及び予後の向上が期待できます。						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
市民・事業所への防火対策の啓発指導 ・高齢者の住宅防火対策の推進 ・防火講習、初期消火訓練の開催 ・事業所への立入検査の実施	通年	・高齢者宅防火訪問：100件 ・自治会、事業所等の防火講習等：150回 ・立入検査：600件	・高齢者宅防火訪問を全国秋季火災予防運動に併せ98件の実施を予定しています。 ・自治会、事業所等への防火講習会等を78回実施し、市民への防火意識の高揚を図りました。 ・立入検査の実施状況は、326事業所に立入検査を実施し、防火対策の指導を徹底しました。	・高齢者宅防火訪問を全国秋季及び春季火災予防運動に併せ実施（109件、達成度109%） ・自治会、事業所等への防火講習会等を実施（204回、達成度136%） ・事業所の立入検査を実施（564件、達成度94%）			
幼少年への防火・防災知識の普及	随時	幼少年対象の防火・防災教育：100回	・保育園、幼稚園及び小中学校の避難訓練、防災講習等を48回実施し防火・防災知識の普及を図りました。	・保育園、幼稚園及び小中学校の避難訓練、防災講習等を実施（112回、達成度112%）			
市民に対する応急手当の普及促進 毎月1回の定期開催（上田地域広域連合）の他、各団体からの依頼による講習会の実施	通年	普通救命講習及び上級救命講習の受講者数：1,400人	・普通救命講習及び上級救命講習の上半期の受講者数は971人となっています。	普通救命講習及び上級救命講習の受講者数：1,250人 【達成度】 約89%			
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 自分たちの地域、自分たちの事業所は、自分たちで守るという自助・共助の精神を啓発することにより、市民の災害対応能力が高められる。		取組による効果・残された課題 ・市民、事業所への防火対策の啓発指導を目的として、高齢者宅の防火訪問の実施や防火講習及び各種訓練を通じ、自治会、事業所等に対し、防火に対する意識の高揚を図ることができました。しかし、昨年の火災件数は76件と、前年の50件を大きく上回る結果となりましたことから、今まで以上に市民に対し、防火意識の定着を図るとともに、事業所への立入検査を継続して実施し、防火対策の指導を更に進めてまいります。 ・応急手当の普及については、今年度は推進している標準となる普通救命講習の受講者が減少しました。今後、普通救命講習会の開催数を増やすことが困難なことから、定期講習での受講者を増やす対策が課題となっています。				

平成25年度 重点目標管理シート

重点目標	消防水利の充実・強化			部局名	消防部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する				市長マニフェスト における位置付け		
現況・課題	消火活動を実施するに当たり消防水利は必要不可欠な施設であり、計画的に設置し消防水利の充足を図る必要があります。防火貯水槽の総数は861基で、消防水利の基準に適合する40㎡以上の貯水槽は372基であり、全体の約43%であります。総数の内消防水利の基準に適合する40㎡以上の耐震性を有する貯水槽は、約9.8%に当たる84基であり、防火貯水槽の耐震化率を上昇させ震災に強い消防水利の充実・強化を図る必要があります。また、消防水利が不足している箇所へは消火栓を計画的に設置し、消防力の向上を図る必要があります。						
目的・効果	耐震性貯水槽は、震災時等の断水時にも消防用水を確保できることから、最も信頼できる消防水利であり災害に強いまちづくりに寄与します。また、消防水利が不足する箇所への消火栓の設置は、火災発生時の住民等による初期消火が可能であり、被害の拡大が防止できます。						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
耐震性貯水槽の設置（24年度繰り越し事業）	年度内	5基設置 【上田地域】 山田 朝日ヶ丘 北天神 小泉 【丸子地域】 石井	・5基の内、2基は完成し1基が完成検査中、1基が10月末完成予定で す。上田地域の1基については、10月以降着手となっています。 【上田地域】山田 7/5契約 完成検査中 朝日ヶ丘 契約手続中 北天神 7/4契約 9/26完成 小泉 7/3契約 10/31完成予定 【丸子地域】石井 6/4契約 8/30完成	・5基完成しました。 【上田地域】山田 9/30 完成 朝日ヶ丘 3/14 完成 北天神 9/26 完成 小泉 10/25 完成 【丸子地域】石井 8/30 完成 【達成度】100%			
消火栓の新設	年度内	6基設置 【上田地域】 岩門 諏訪形2箇所 小牧 【丸子地域】 中丸子 生田	・今年度の計画通り6基新設する予定で、すべて工事申込を済 ませています。 【上田地域】工事申込日 4/27（4基） 【丸子地域】工事申込日 6/11（2基）	【上田地域】 4基設置で工事申込をし、3基は設置完了をしましたが、諏 訪形地籍の下水道工事が来年度に繰越となったため、その工 事に併せて設置する予定であった1基が設置できませんでした。 【丸子地域】 2基計画どおりに設置完了 【達成度】83%			
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		取組による効果・残された課題 ・耐震性貯水槽は、計画どおり設置できたことにより、地域の消防力の向上が図られました。 ・消火栓の新設では、公共工事（下水道工事）に併せて、消火栓を設置する予定でありましたが、公共工事の繰越により次 年度へ事業を急ぎょ繰越すこととなりました。				

平成25年度 重点目標管理シート

重点目標	上田広域消防本部体制の充実・強化の推進			部局名	消防部	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する				市長マニフェスト における位置付け		
現況・課題	上田地域広域連合消防本部では消防・救急無線のデジタル化、高機能消防指令装置更新及び消防本部庁舎等の増改築の3整備事業を進めています。無線のデジタル化は平成28年5月に移行期限を控えており、設計業務が24年度に完了したことから、今年度から整備に着手します。高機能消防指令装置更新整備は27年度運用開始に向け、今年度は実施設計を実施します。消防本部庁舎等の耐震化、増改築については、24年度に実施しました実施設計に基づき、26年度当初からの本格的な工事に向けて、今年度は各種工事の契約手続きを中心に実施いたします。また、車両更新整備計画に基づき高規格救急自動車を更新すると共に、単年度事業である長野県市町村振興協会の消防本部活動支援事業補助金を活用し、作業車等の更新を含めた資機材の整備に努め災害対応力の強化を図ってまいります。高規格救急自動車の更新については、財源に国庫補助金を見込んでいたため不採択となった場合の財源確保が課題となります。						
目的・効果	通信方式をデジタル方式に移行することにより確実かつ効率的な消防活動ができ、また、通信の秘匿性向上による搬送傷病者の個人情報等を保護できるようになります。高機能通信指令装置の実施設計を行い、26年度整備に向けた準備をします。消防本部庁舎等の耐震化及び増改築工事の実施に向けた契約を締結し、業者等との調整を行います。消防車両の更新、資機材を整備することに伴い、安全性、機動力及び機能性等の消防力の充実強化が図れます。						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
消防・救急無線のデジタル化に伴う施設整備	年度内	・東北信7消防本部共同整備分の実施 ・真田基地局の通信鉄塔及び無線局舎建設 ・上田基地局の無線局舎建設	・契約手続中 ・通信鉄塔及び無線局舎の建設工事についても、契約手続中です。	共同整備分 発注主体の長野市と協定締結完了 現在、整備中 単独整備分 真田基地局の通信鉄塔及び局舎、上田基地局の無線局建設工事は、契約完了。現在整備中 整備の進捗については、単独整備分の契約の遅延及び工期延長に伴い、共同整備分についても若干の遅れが生じています。【達成度】 50%			
高機能消防指令装置の更新整備	年度内	・実施設計の実施	・実施設計契約日 6/5 実施期間 12/25まで	実施設計完了 12/24 【達成度】 100%			
消防本部庁舎等耐震化及び増改築の契約	年度内	・耐震改修、増改築工事等の契約	・耐震改修、増改築工事については、準備段階として工事がスムーズに進むよう、また工事中の消防業務に支障が出ないよう関係機関と各種調整中です。 ・訓練塔については、安全管理等の問題から庁舎敷地外へ移転建設することとし、関係機関の了解を得ながら、移転建設に係る事業を推進しています。	・耐震改修、増改築事業の建築主体工事を含む3つの工事請負契約を締結しました。 契約日 建築主体工事 2/26 電気設備工事 3/31 給排水衛生・空調設備工事 3/31 ・訓練塔建設については、移転場所の用地購入、建設に係る各業務委託を終了しました。 訓練塔用地購入完了日 10/25 委託業務完了日 用地測量 1/23 地質調査 1/29 管理棟実施設計 3/31 訓練塔変更設計 3/31			
消防車両等資機材整備	年度内	・高規格救急自動車の更新（真田署） ・消防本部活動支援事業（長野県市町村振興協会）による資機材整備作業車2台（軽トラック）の更新（中央署 南部署） トライアルバイク2台の更新等	・計画した5台の内、3台の契約を済ませています。 高規格救急自動車 7/25契約 12/27納車期限 作業車 9/13契約 12/20納車期限 トライアルバイク 10月以降着手	・計画した5台すべて納車されました。 高規格救急自動車（1台） 12/24 納車 作業車（2台） 12/20 納車 トライアルバイク（2台） 3/10 納車 【達成度】100%			
市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			取組による効果・残された課題	・平成25年度は消防本部庁舎耐震化及び増改築事業の各契約の締結および訓練塔建設に係る各業務委託が完了して事業を推進することができました。工事は平成26年度から本格的に始まることになり、工事監理業務委託契約をはじめ、関係者と工事に係る調整を進めていく必要があります。			